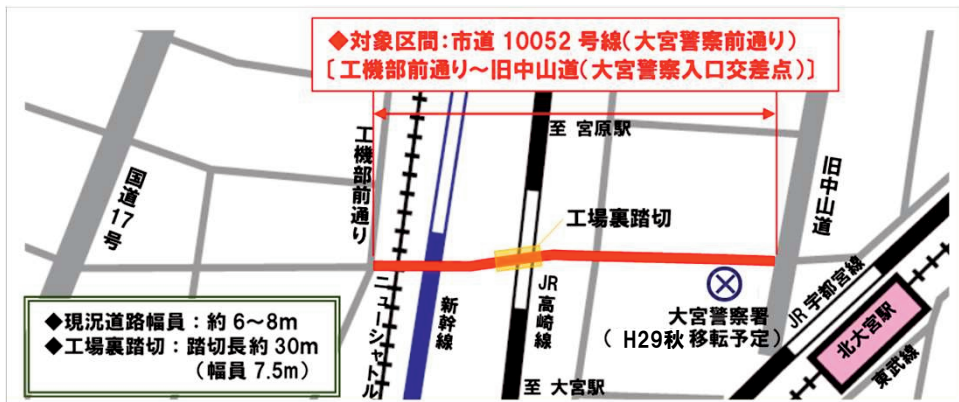


市道10052号線(大宮警察前通り)に関するアンケート調査結果

1. 調査の経緯

市道10052号線(大宮警察前通り)の道路改良事業について、道路が鉄道をオーバーパスする立体交差化の方針を示していましたが、(別紙、事業概要説明参照)計画時から周辺の様子が変わっていることから、今後の事業方針を再検討するにあたり、改めて当該道路の沿線にお住まいの皆様へ現在の意見を伺うため、市道10052号線(大宮警察前通り)に関するアンケート調査を実施しました。



2. 調査の内容

- 調査地区:東大成町1丁目、土手町1丁目、大成町3丁目
- 対象者数:沿線住民・地元自治会役員 計199件
- 調査方法:沿線住宅へのポスティング・郵送による回収
- 調査期間:8月8日(月)~22日(月)
- 調査項目:

属性調査

年齢、居住地区、居住年数、当該路線の利用頻度、踏切の利用頻度
当該路線の利用手段、当該路線の事業計画を知っていたか
当該路線の事業の説明会に参加したことがあるか・回数

本調査

当該路線の課題・対策に対する意見(道路について・踏切について)
当該路線に関する意見・要望

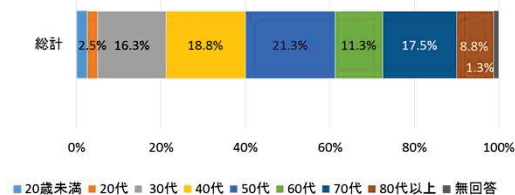
3. 調査結果

3.1. 回収結果

配付数	回収数	回収率
199件	80件	40%

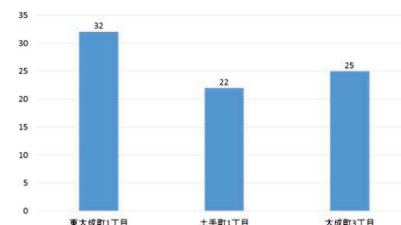
3.2. 年齢

・年齢比率は30代~70代が高く、50代が最も多い割合になっています。



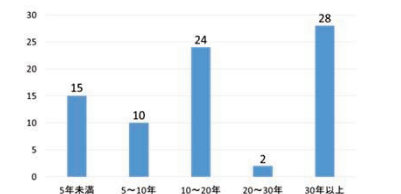
3.3. 居住地区

・東大成町1丁目の32件/(配布108件)、次いで大成町3丁目が25件/(配布43件)、土手町1丁目22件/(配布48件)になっています。



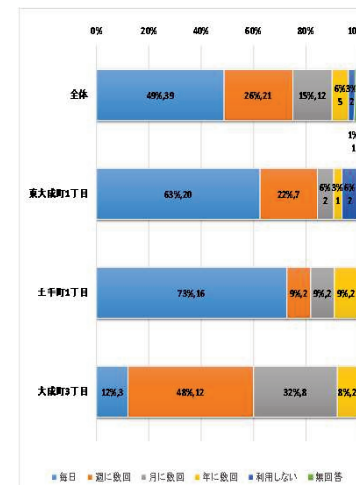
3.4. 居住年数

・居住年数について30年以上と、10~20年に集中しています。



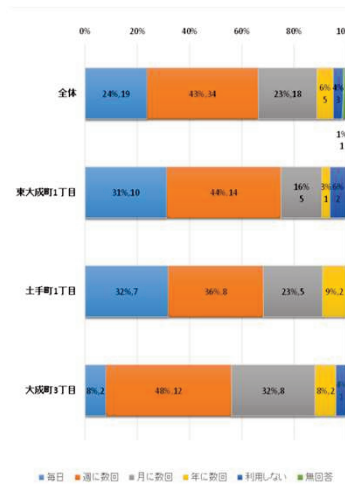
3.5. 当該路線の利用頻度

・毎日利用する回答者は約半数となっており、約8割の回答者が週に数回以上は当該路線を利用しています。



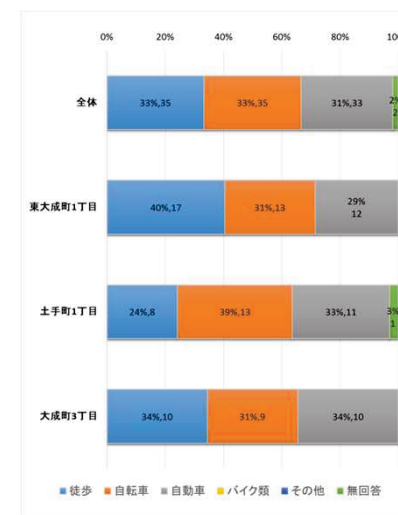
3.6. 踏切の利用頻度

・踏切の利用頻度は約8割の回答者が週に数回以上は当該路線を利用しています。



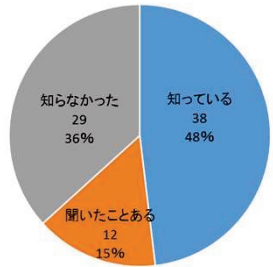
3.7. 当該路線の主な利用手段

・徒歩、自転車、自動車ほぼ等分布になっています。



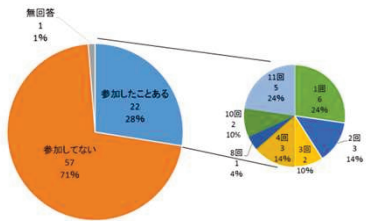
3. 8. 当該路線の事業計画を知っていたか

・回答者のうち、事業を知っているが約5割、知らなかったが約4割になっています。



3. 9. 当該路線の説明会への参加

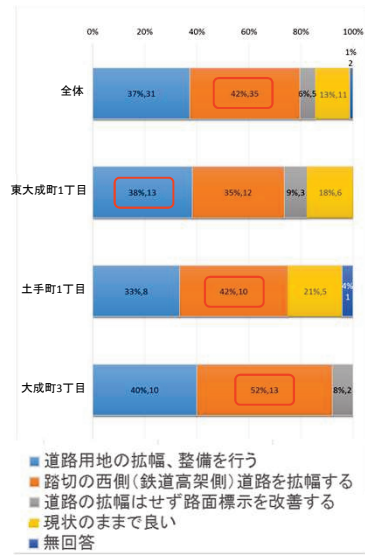
・回答者のうち約2割が説明会へ参加したことがあり、参加したことのある回答者の半数が4回以上参加しています。



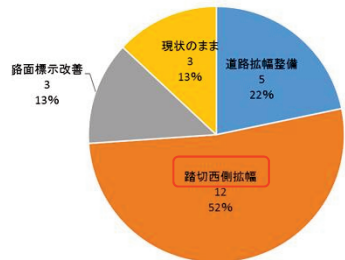
3. 10. 当該路線の課題・対策に対する意見

1) 道路について

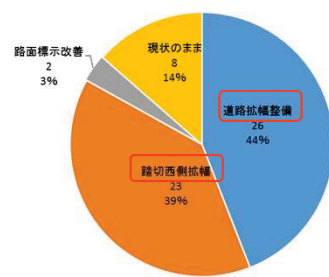
・道路の課題と対策として、道路拡幅整備と踏切西側の拡幅に対する回答が多く、それぞれ約4割となっている。現状のままで良いとする回答も1割ほどみられます。
・地区別では、東大成町1丁目は道路拡幅整備、土手町1丁目、大成町3丁目は踏切西側道路の拡幅の回答が多い傾向になっています。



・事業計画について詳しく知っていた方の傾向として、地元への説明会へ参加したことがあり、参加したことのある回答者の半数が4回以上参加しています。
・事業計画について詳しく知っていた方の傾向として、地元への説明会へ参加したことがあり、参加したことのある回答者の半数が4回以上参加しています。



・地元への説明会へ参加したことがない回答者についてまとめると、道路拡幅整備と踏切西側道路拡幅整備がそれぞれ約4割、現状のままで路面表示改善が合わせて約2割になっています。



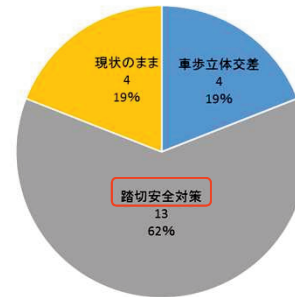
・地元への説明会に参加したことがある回答者は、踏切西側道路拡幅整備を望む割合が高い傾向になっています。

2) 踏切について

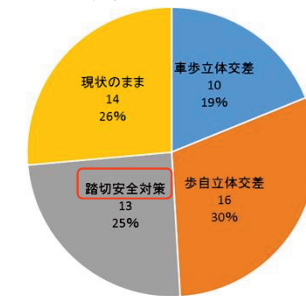
・踏切の課題と対策として、踏切安全対策が最も多く約3割、次いで現状のままが約2割になっています。
・地区別では、東大成町1丁目は踏切安全対策、土手町1丁目は現状のまま、大成町3丁目は踏切安全対策の回答が多い傾向になっています。



・道路整備と同様に、地元への説明会へ参加したことがある回答者についてまとめると最も多かったのは、踏切安全対策となり約6割になっています。
・現状のままと車道と歩道の立体交差が約2割ずつになっています。(歩行者・自転車の立体交差は回答なし)



・地元への説明会へ参加したことがない回答者のうち最も多かったのは、歩行者・自転車の立体交差が約3割、次いで現状のままと踏切安全対策がほぼ同数となり、車道と歩道の立体交差が約2割になっています。



・地元への説明会に参加したことがある回答者は、踏切安全対策を望む割合が高い傾向になっています。

3. 11 その他ご意見・ご要望について(自由記述)

・46件の回答があり分類した結果多かった意見・要望3項目について

・道路拡幅整備 11件
賛成意見10件、反対意見1件

・踏切立体交差 10件
反対意見8件、どちらでもない意見2件。

・踏切安全対策 7件
すべて賛成意見

(その他に分類 28件)

4. 結果の傾向について

1) 道路について

全体は「踏切西側道路の拡幅整備」と「道路拡幅整備」の回答が多い傾向になっています。
事業の計画をしており、かつ説明会に参加していた回答者は、「踏切西側道路の拡幅整備」との意見が多く過半数になっています。

2) 踏切について

全体は「立体交差」より「踏切安全対策」を望む意見が多い傾向になっています。
事業の計画を知っており、かつ説明会に参加していた回答者は、「踏切安全対策との意見」が多く過半数になっています。